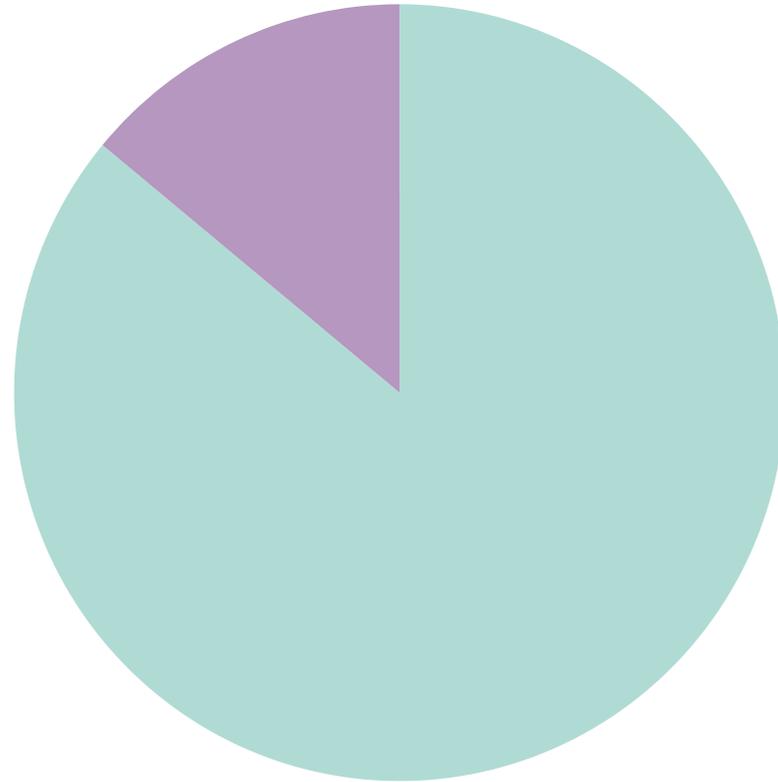


トイレへの生理用品の設置についてのアンケート

どちらでもない
14%



トイレに欲しい
86%

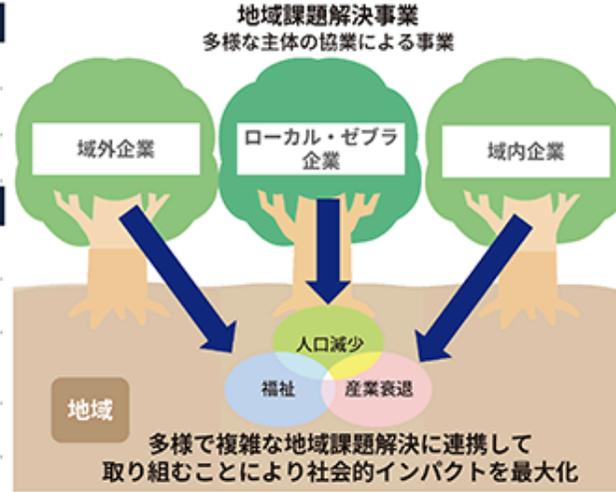
小学5年生以上
計67名に
聞きました



令和8年3月9日（月）2月定例会一般質問 大城七瀬

コラム 2-2-2①図 ローカル・ゼブラ企業の特徴と地域課題解決事業のイメージ

ローカル・ゼブラ企業の特徴	
事業を通じて地域課題解決を図り、収益性を確保・継続	
新たな価値創造や技術の活用等による革新的なビジネスを構築	
事業意図の明確化	
ローカル・ゼブラ企業が事業を進める上でのポイント	
金融	■ 創業、事業の持続的成長のための戦略的な資金調達
人材	■ 企業のフェーズに合わせた適切な人材の確保等
事業の可視化	■ 事業を可視化し、ステークホルダーからの信用を獲得し、参加しやすい環境を整える
意思決定プロセス	■ 意図する事業に応じた意思決定体制の構築や資本構成の検討
社会的インパクトの可視化	■ ビジョンと測定可能なインパクトの設定及びその測定



資料：中小企業庁「地域課題解決事業推進に向けた基本指針」

コラム 2-2-2②図 ローカル・ゼブラ企業の事例

事例 ㈱エーゼログループ（岡山県西粟倉村）

- ▶ 地域経済の促進・循環を事業目的とし、岡山県西粟倉村と連携し、林業の6次産業化を進めることで新しい事業（地元木材でフローリングなどの内装材や家具・雑貨等の製造）を興し、地域資源を活用したローカルベンチャーの創発に取り組む。
- ▶ 現在は4拠点で農林水産業、獣肉の加工・流通、飲食事業など幅広い事業を展開。

事例 ㈱AsMama（神奈川県横浜市）

- ▶ 自治体や企業と連携して、共助社会のあり方に賛同・協働する人材を全国で募集・育成。
- ▶ 年間2,000回以上のイベント企画・実施と「子育てシェア」等の自社開発アプリの普及を行い、コミュニティ形成事業に取り組む。
- ▶ デジタル活用により、共助の担い手となる人や資源を可視化することで、地域の中に助け合いのコミュニティを創出。



地域のビジョン（目指す姿）づくりも促しながら、コミュニティ形成をサポート

資料：中小企業庁「地域課題解決事業推進に向けた基本指針」